

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	本事業の上位目標としては、「マンセラ郡において、教育環境整備・向上を通じ基礎教育を強化する」を設定した。計画通り、10校の校舎を再建すると同時に、教師、PTC(日本のPTAに相当)及び生徒会メンバー(計181名)に対して研修を実施し、その能力と意識の向上を図った。また、年4回のニュースレター発行・配布を通じ、教育に関するニーズや課題を共有する機会を提供、地域間の連携を促進した。これらにより、ソフト面・ハード面の両面から教育環境を整備・向上させ、同郡における学校教育を包括的に強化できたことから、上位目標は達成できたと言える。
(2) 事業内容	(イ) <u>学校校舎の再建</u> 本事業では、パキスタン国ハイバル・パフトゥーンハー州マンセラ郡の8つの村において、2005年の震災で倒壊した公立学校のうち、Non-strategy¹校とされる学校の中から、計10校を再建した。 【再建校】 女子学校4校 (GGPS² Susal Jhangar、GGPS Nizam Dana、GGPS Kehnian、GGPS Chanai Haryala) 男子学校6校 (GPS Jandri Hotar、GPS Munawal、GMS Bai Payeen、GMS Lammi Battal、GMS Shanai Bala、GHS Dilbori) 建設にあたっては、郡政府公認機関であるペシャワール工科大学により示された基準に則り設計図を作成し、マンセラ郡の政府機関 Communication and Works Department に承認を受けた。建築仕様としては、鉄筋コンクリート、スチールメッシュ耐震補強構造となっている。耐久年数は約60年程度³で、優れた耐震性も実現している。校舎には、校門、標識、トイレ、水タンク、浄水層、擁護壁、花壇を整備した他、教育局の基準に則った規格の教師及び生徒用の机と椅子、資料棚等を各学校に整備した。また、支援対象とした10校には学用品900セットも合わせて支給した。校舎及び学校資機材、家具については、順次完成した学校から、マンセラ郡教育局に管理が譲渡され、政府の責任において管理運営されている。これら移譲に際しては、譲渡式を開催し、郡政府と書面にて確認を行った。なお、校舎を含め、こうした支援物資が大切に使用され、学校設備が適切に管理されていくよう整備の仕方などを示した9種類の啓発ポスターを作成し、各学校に掲示した。(ポスター内容詳細：添付1参照、ポスター：添付2参照) (ロ) <u>教師及び保護者・父兄を対象としたセミナーの開催、生徒会の組織化</u> 再建した校舎において、質の高い教育を提供できるよう、支援対象校の教師、PTC及び生徒会に対して、以下の日程で研修を実施した。 教師研修：2日間×1回(10月6～7日)、参加者数計32名 PTC研修：2日間×2か所(10月4～5日、10月9～10日)、 1日間×1か所(11月12日)、参加者数計61名 生徒会研修：1日×8ヶ所、(7月3日、11日、8月29日、30日、

¹パキスタン政府による再建のための予算の目途が立たない学校のこと

² GGPS=Government Girls Primary School(公立女子小学校)、GPS=Government Primary School(公立男子小学校)、GMS=Government Middle School(公立男子中学校)、GHS=Government High School(公立男子高校)

³ 修繕を加えることで半恒久的に使用する

	11月15日、21日、28日、12月12日)、参加者数計88名 研修では、近代的教授法の習得、教師の意識改革や、PTCの果たすべき役割の認識を取り上げた。また、生徒会を組織化し、生徒の主体性の向上を目的とし、学校における生徒会の役割について生徒参加型のトレーニングを実施した。(研修内容詳細：添付1参照) (ハ) <u>ニュースレター発行を通じた地域の情報共有・ネットワーク強化</u> 再建した学校のある地域の住民にインタビューし、各学区の抱える教育に関するニーズやその他情報を収集し、ニュースレターを4回、発行した。ニュースレターは、地域、政府担当官などに配布し、各学区における課題やニーズの共有を図り、地域全体における教育への関心を高めた。(配布先：添付1参照、ニュースレター：添付3参照)																																																		
(3) 達成された効果	期待される効果として、(ア)校舎再建を通じた基礎教育の提供 (イ) 公的教育制度における教育環境の整備 (ウ) 教師及び地域社会における意識啓発と能力向上及びネットワーク強化を設定した。 (イ) <u>校舎再建を通じた基礎教育の提供</u> 2005年の震災で倒壊したままとなっていた学校のうち10校の校舎を再建し、青空教室や、破損したテントでの就学を余儀なくされていた5～14歳の生徒1008名(男子685名、女子323名)が、耐震性に優れた校舎において基礎教育を享受できるようになった。 事業対象地では、地震以降6年間も屋外での授業が続いたため、生徒らの中退が増えていたが、新しく校舎が建設されたことにより、屋外での青空教室ではなく、設備の整った屋内での学習が可能となり、より多くの生徒が基礎教育へアクセスすることができるようになった。 再建前と再建後の生徒数 (2013年5月時点) <table><tr><th rowspan="2">学校名</th><th colspan="2">生徒数</th><th rowspan="2">増加数</th></tr><tr><th>再建前</th><th>再建後</th></tr><tr><td>GGPS Susal Jhangar</td><td>52</td><td>109</td><td>57</td></tr><tr><td>GGPS Nizam Dana</td><td>68</td><td>78</td><td>10</td></tr><tr><td>GGPS Kehnian</td><td>60</td><td>70</td><td>10</td></tr><tr><td>GGPS Chanai Haryala</td><td>63</td><td>66</td><td>3</td></tr><tr><td>GPS Jandri Hotar</td><td>97</td><td>105</td><td>8</td></tr><tr><td>GPS Munawal</td><td>70</td><td>81</td><td>11</td></tr><tr><td>GMS Bai Payeen</td><td>70</td><td>90</td><td>20</td></tr><tr><td>GMS Lammi Battal</td><td>70</td><td>77</td><td>7</td></tr><tr><td>GMS Shanai Bala</td><td>60</td><td>69</td><td>9</td></tr><tr><td>GHS Dilbori</td><td>252</td><td>263</td><td>11</td></tr><tr><td>合計</td><td>862</td><td>1008</td><td>146</td></tr></table> (ロ) <u>公的教育制度における教育環境の整備</u> 再建した校舎には、校門、標識、トイレ、水タンク(もしくは井戸)⁴、浄水層、擁護壁、花壇、啓発ポスターを整備したほか、教師及び生徒用の机	学校名	生徒数		増加数	再建前	再建後	GGPS Susal Jhangar	52	109	57	GGPS Nizam Dana	68	78	10	GGPS Kehnian	60	70	10	GGPS Chanai Haryala	63	66	3	GPS Jandri Hotar	97	105	8	GPS Munawal	70	81	11	GMS Bai Payeen	70	90	20	GMS Lammi Battal	70	77	7	GMS Shanai Bala	60	69	9	GHS Dilbori	252	263	11	合計	862	1008	146
学校名	生徒数		増加数																																																
	再建前	再建後																																																	
GGPS Susal Jhangar	52	109	57																																																
GGPS Nizam Dana	68	78	10																																																
GGPS Kehnian	60	70	10																																																
GGPS Chanai Haryala	63	66	3																																																
GPS Jandri Hotar	97	105	8																																																
GPS Munawal	70	81	11																																																
GMS Bai Payeen	70	90	20																																																
GMS Lammi Battal	70	77	7																																																
GMS Shanai Bala	60	69	9																																																
GHS Dilbori	252	263	11																																																
合計	862	1008	146																																																

⁴ 水源がある場合は井戸の整備を行った

	と椅子、資料棚等を整備した。これにより、より整った環境で生徒が学習できるようになった。特に、トイレや水タンク、井戸等の水回りを整備したことで、安全な水へのアクセスを確保し、衛生面の整備につながったことから、様々な関連疾病の恐れが軽減された。擁壁やトイレがないことが女子生徒の中退の原因の一つとなっていたため、これら施設を整えたことで、女子生徒の復学につなげることができた。加えて、停電の多いパキスタンで、停電時にも外からの光を多く取り込めるよう、大きめの窓枠のサイズを採用した。空調設備の無いなかで、窓を開けての授業をしても、蚊など伝染病の媒体となる虫が入らないよう、窓には網戸を張った。これらの配慮により、安全でより勉学に集中できる環境整備を行うことができた。 また、10校に対して計900セットの学用品（約1年間分）を支給し、文房具を購入する余裕のない貧困層の家庭の生徒らにも継続して学習できる環境を整えることができた。 （ハ）<u>教師及び地域社会における意識啓発と能力向上及びネットワーク強化</u> 再建校の教師（32名）・PTC（61名）及び生徒会（88名）へ、教育に関しての意識の向上や、教授法などの研修を実施した。研修を通じて、PTC、教師、生徒会の意識とスキルが向上され、学校に関わるもの全員で、より良い教育環境を整備してゆこうという共通の目標を確認することができた。 教師研修では、一方的な教育法ではなく、生徒との相互交流に重きを置いた最新の教育方法が紹介された⁵。教師は教育方法が日々進化していることに気づき、積極的に教育方法の向上に努めるべきであるという意識が醸成された。 PTC研修では、これまで形骸化していた各学校のPTC活動を再活性化することができた。研修により、保護者らが学校におけるPTCメンバーとしての自身の役割を自覚したとともに、学校運営にかかるPTCの重要性について認識することができた。研修後、PTCは定期的に会合を開くようになり、学校運営について、必要な介入を行える体制が築かれている。 生徒会研修では、教育の権利や、生徒会の役割などに関して、ディスカッション、ゲーム、ロールプレイを行い、生徒の能力と意識の向上を図った。研修に参加した生徒からは、「生徒会の役割や責任について知ることができた」、「今後は教師の補助役となって、学校の美化にも努める」等のフィードバックを得ている。 加えて、ニュースレターを発行・回覧することで、マンセラ郡の各学区における教育分野の情報の共有を図り、お互いの経験から学び、地域の一体感を促進することができた。 なお、（イ）～（ハ）の活動を通じた直接裨益者は5～14歳の生徒1,008名（男子685名、女子323名）、再建校の教師（32名）・PTC（61名）及び生徒会（88名）、間接裨益者は約209,000名である。
（４）持続発展性	・再建した学校はすべて公立学校であり、校舎が不在の間も授業は続けられてきた。政府予算での校舎再建こそ資金の目途が立たないが、教師の給料やその他運営費などは、政府の予算が振り分けられている。よって、本事業で移譲した学校についても、政府により学校の管理運営がなされてゆく。 ・本事業で実施した研修により、PTC、教師、生徒の意識が向上したことで、各校において、コミュニティと共により良い教育環境を創造していく体制が確立された。特にPTCは、本事業を通じ、本来政府から与えられていた役

⁵ パキスタンでは、前近代的な一方通行の威圧的な教授方法がドロップアウトの原因になっていることが指摘されている

	割を自覚したことで、今まで果たしてこなかった本来の役割を務め、地域の保護者代表として学校運営に積極的に関与していく体制を構築できた。
--	--